

平成 30 年度 栗岡学園 自己点検・評価票

平成 19 年 12 月に改正された学校教育法に基づき今年度の自己点検・自己評価を以下のとおり実施する。

評価結果については設置者に報告する。記入項目は「教育」、「施設・設備」、「学生サービス」の 3 テーマに関する項目とする。

【記入方法】

「教育」、「施設・設備」、「学生サービス」の項目ごとに

- 1) 学校の現状がどのようになっているか
- 2) どのような良好な点や問題点があるか
- 3) 現状を踏まえた 5 段階による自己評価
- 4) 今後、どのようにして向上・改善を図っていく方針であるか
を簡明にご記入ください（自己評価は数字に○を付けてください）。

学 校 名 : 奈良リハビリテーション専門学校

回答責任者 : 太田 むつ子（役職：副校長）、赤松 眞吾（役職：学科長）

1 教 育

項 目	どのような現状ですか	良好な点あるいは問題点	5段階の自己評価	今後の向上・改善策
1. カリキュラムは貴校の教育目標をどのように反映していますか	基本は日本理学療法士協会が示すコアカリキュラムに準拠するように努めているが、人間性豊かな人材育成の取り組みと医療専門職の養成を目的としているため、技術や特殊な手技に関するカリキュラムも充実している。	少人数に対し手厚い技術指導ができることで手技に関しては実習施設や就職先で一定の評価をいただいている。一方、学生の資質が多様化しており本校が掲げる人間性豊かな人材の育成に到達できていない状態もあります。	5 ④ 3 2 1 + ふ 不 ← つ → + 分 う 分	実技講義の手厚い指導は現状を維持しつつ、未整備科目への対応や全体的な調整を進めていきたい。また、新たな理学療法の領域についても盛り込んでいった教育目標を検討する。
2. カリキュラムに卒後の職場のニーズをどのように反映していますか	カリキュラムの準拠に重点を置いているが、現行カリキュラムの職場ニーズに即した見直しが必要である。	卒後研修の形で対応できるよう取り組みを進めている。また、将来、職場で求められるニーズを把握し学内講義や日々の指導の中で反映できるよう取り組んでいる。	5 ④ 3 2 1	就職先は病院が中心だが、今後の職域拡大に対しての対応も必要となってくる。2020年度の指定規則の改定にあるよう、今後は地域に貢献できる人材育成も目標としてカリキュラムを作成していく。
3. 授業科目の学年進行や時間配分は適切ですか	各学年とも基本的に授業構成は適切に配置されている。しかし、各学年で臨床実習に行く時期や学校行事の都合で全学年一定の進行とはいえないが、可能な限り学生が効率良く学ぶことができるよう取り組んでいます。	できるだけ学生が効率的に学習できるよう努力している。授業科目外の活動（補習など）にも取り組んでいる。学習時間について、学校内外のバランスを考慮したものとなっている。	5 ④ 3 2 1	授業科目外の活動（補習など）については、できる限り就学時間の中で行えるように努めている。一部の科目について、教授内容と事業時間を再検討する。
4. シラバス（授業要項）を作成していますか（内容は適切ですか）	新たな書式で学生への講義予定の提示と評定方法、使用教科書を掲載し全科目作成している。	シラバスがあることで、学生が学年を通じて学ぶ講義内容を確認することができる。 シラバスの作成は前・後期日程開始の前に行っているが、非常勤講師分の講義内容の反映が直前になることがある。	⑤ 4 3 2 1	講師依頼の際、十分な期間を設け依頼することでシラバスの反映に間に合うように取り組んでいく。 今年度は新たに評定方法の記載も加え、学生がより有効に使用できるようにしている。

5. カリキュラムの見直し体制はどのようにしていますか	指定規則の改定に向け、カリキュラムに関しては全教員で検討している。また、臨床実習に関する CBT、OSCE、CCS に関しては各担当者を決め、それぞれ検討した内容を全体会議の場で決定している。	各担当での作業を順次進めているが、全体会議で決定していくのには時間がかかっている。	5 4 ③ 2 1	各担当で進めた内容を全体会議前に資料としてある程度紙面で示し、一読したうえで全体会議に臨み、あらかじめ質問事項や確認事項を整理した上で全体会議に臨み円滑に会議が進められるように対応していく。
6. テキストや教材をどのような基準で採用していますか	国家試験や臨床実習に対応できるように、常に教員の連携のもと学生に必要なかつ適切なものを考え採用している。さらに、教科書に関しては各出版社から様々な内容や価格のものが出版されているので、安価で内容の充実したものを選択するようにしている。	学生が講義を受けるにあたって、最適な教材、教科書が用意されている。また、講義にとどまらず、国家試験対策や臨床実習でも役立つ。新書が数多く出版される中、授業に最適なものを使用できるように常に検討している。	⑤ 4 3 2 1	学生へのアンケートにおいて、教科書の使用に関する意見が多いので、今後も継続的に教材や講義資料の吟味を行うとともに、特に使用する教科書について学生への説明を十分行っていく。
7. 目標とする教育効果を踏まえて適切に成績評価を行っていますか	各講義の中で教育目標と評価方法をシラバスに示したうえで、講義を行い、講義終了時に適宜試験を実施している。実習に関しては、実習課題と成果表をもとに評価している。	各試験の中で教育目標とする内容に一定の教育効果があったかどうか適正に判断している。実習に関しては、内部評価をするための評価内容の整備を進めている。次年度から試行できるような項目等実用化に向けて検討している。	⑤ 4 3 2 1	各科目の目標設定を明確にし、より適正な成績評価を行うようにしていく。今後、客観的評価の必要性も検討していく。また、教育評価を高める講義内容をより意識したうえで取り組んでいく。さらに、実習に関しては、学内の評価項目や評価基準の見返しを検討する。
8. 学生の理解度に応じて授業を柔軟に進めていますか	学生の理解度に合せた講義を柔軟に進めている。講義の中で理解度の確認を表出させることで行っている。表出には小テストや口頭試問、場合により実技を用いている。	様々な方法で表出させることで理解できている個所とできていない箇所の確認はできるが、どの方法を用いても時間がかかる。時間の限られた講義の中でどのように確認していくか課題となっている。	⑤ 4 3 2 1	教員は講義レベルを維持しつつ、学生の理解度が増す講義形式（参加型学習等）の検討を続けていく。併せて、学生に対しては講義の理解が得られるよう予習の勧めや勉強方法の指導も行っていく。

9. 学生の学力不足を補うための教育をとくに実施していますか	講義時間以外の時間外学習で補っている。全体的に課題を与え理解が進みにくい学生には個別の対応を実施している。	計画的な学力不足への対応は、教員による管理が必要な場合が多い。	⑤ 4 3 2 1	日々、学生個人の特性の把握に努め、それぞれに応じた課題の解決を図っていく。
10. マナー（喫煙指導などを含む）やしつけの教育や指導を行っていますか	入学時にビジネスマナー研修を行い基本的な接遇等の教育を行っている。また学校周辺および校内全面禁煙の指導を徹底している。	医療人として身に付けておく社会性は多岐にわたっており、学校内での指導は十分ではない部分がある。	⑤ 4 3 2 1	SNS に関するリテラシーについては、教育内容の検討を要する。特にしつけに含有される部分は、どのようにすべきか検討を要する。
11. 教育技術（教育方法）の研修・研究を実施していますか	学校内、法人内で特に対応している研修会はなく、各個人が自己研鑽として研修会に参加している。	学生指導や授業準備などの業務に追われているため、研究活動への時間をかけることがなかなかできず、また研修の参加も計画的に行われているとは言えない。	5 4 ③ 2 1	教員 7 人中 6 人は長期の教員研修会を受講済であるが、その後に受講する研修会への参加など、情報収集に努め、教職員全体のスキルアップを行っている。
12. 学生による授業評価を実施し教育改善に反映していますか	半期ごとに学生による授業アンケートを実施し、まとめている。その結果を教員、講師に伝達している。また、声の大きさ、板書については必要があればその都度フィードバックしている。	授業アンケートの結果は伝わっているが、どのような改善がされているかは十分に把握できているとは言えない。	5 4 ③ 2 1	今後もアンケートは継続し、さらに教員の能力開発の一環として専任教員、非常勤講師ともにアンケート結果をフィードバックし、講義方法等を見直す機会を作っていく。

2 施設・設備

項 目	どのような現状ですか	良好な点あるいは問題点	5段階の自己評価	今後の向上・改善策
1. 教室の数や広さ、附帯設備は適切ですか	学生人数に対し教室、治療ベッド、実技室等は適切に設置されている。	学生への個別対応が増えてきており、教室が不足する場合も出てきている。	5 (4) 3 2 1	その都度、補修個所の調査・点検・改善を継続して行い、良好な学習環境を提供していく。
2. 図書室を設け蔵書を適切に揃えていますか (有効に活用されていますか)	図書室の開館状況、管理、利用状況は適切に行われている。 学生の活用方法としては、卒業研究、臨床実習、講義の補助手段等である。	医療系雑誌は多数取り揃えており、最新の情報を学べる状態である。 最新献本が教務室奥のキャビネットに並んでいるため、学生が手に取って閲覧しにくい状況がある。	5 (4) 3 2 1	医療系雑誌の取り揃えについて、学生だけではなく、教員、卒業生が活用できるよう購入計画を立てる。 また、教務室のキャビネットの位置を検討し、学生が新書の閲覧をしやすいようにしていきたい。
3. 実習・実験室の数や広さ、附帯設備は適切ですか	実習室や実験室の数や広さは適切である。実習室で使用するタオルは使用ごとにクリーニングをして清潔を保つとともに、劣化や損傷の激しいものは順次新しいものに変えている。	最新の機材に関しては授業や研究で積極的に活用されている。 開校当初から使われている機材に関しては、老朽化がみられるものもある。	(5) 4 3 2 1	その都度、補修個所の調査・点検・改善を継続して行っていく。
4. 最新機能を備えた視聴覚機器や情報機器は足りていますか (有効に活用していますか)	学内にWi-Fiルーターが設置されており、学生はfacebook経由でのインターネット接続が可能となっている。	コンピュータ室PCにLANを再構築し、CBT等の最新学習システムを取り入れることが可能となった。	5 (4) 3 2 1	図書室内の管理用PCのバージョンが古いので新しく導入を検討する。授業等において、学生のスマホ等による検索ができるよう環境整備を検討する。
5. ニーズに応じた学生寮を保有していますか (有効に活用されていますか)	法人で共通の学生寮を保有しているが、遠方からの入学者はさらに近くのワンルームマンションを選ぶ傾向にある。	法人の学生寮は希望者が多く有効に活用されている。本校の近くに学生寮があれば活用できると思われるが、距離があるため活用できていない。	5 (4) 3 2 1	学生が快適で安心安全に学生生活を送れるように、今後も学校として近隣の賃貸マンション情報等の収集に努める。

6. 体育館や運動場などを保有していますか（有効に活用されていますか）	学内に体育館は保有しないが、近隣にグラウンドを保有している。体育の授業では関連校の体育館を利用している。	グラウンドについては使用頻度が低いが、地元のイベントやスポーツ活動にも有効に利用してもらっている。	⑤ 4 3 2 1	体育館の利用について、夏季期間は館内温度が非常に高くなり、熱中症になることが懸念されるため、空調の改善を検討する。
-------------------------------------	--	---	-----------	---

3 学生サービス

項 目	どのような現状ですか	良好な点あるいは問題点	5段階の自己評価	今後の向上・改善策
1. クラス担任制をとり修学に問題のある学生に対して適切な対応を行っていますか	二人担任制をとっており、就学に問題のある学生に対しては、まずクラス担任で対応している。それ以上の対応が必要となれば、担任以外のサポートも可能である。	クラス担任で速やかに対応できているが、対応するものが限定されていること、対応する問題が複座化していることで負担が大きくなっている。	5 ④ 3 2 1	情報共有を密にして、学校全体として対応ができる体制を整える。
2. 学生に対してカウンセリング（心理相談）を行っていますか	学生の状態や悩みに応じて臨床心理士によるカウンセリングを行っている。	完全に学生のプライバシーが守られており、希望者は気軽に利用できている。	⑤ 4 3 2 1 + ふ 不 ← つ → + 分 う 分	現時点ではこの体制で問題はないと考えている。
3. 教室以外に休憩スペースが適当に置かれていますか	学生ラウンジや、ロビーで各々が適切に休憩を取れる状態である。	本来の休憩スペースと、そうでない場所の区切りが明確でなくなりつつある。	5 4 ③ 2 1 + ふ 不 ← つ → + 分 う 分	現状に合わせたルールづくりを検討する。
4. 食事場所や売店などのスペースが設けられていますか	売店は設置されていないが学生専用のラウンジがあり、昼食やその他休憩時間、自習等で利用されている。	食事場所として、教室やラウンジを利用しており、状況によっては他の教室での食事可としている。校舎のスペースの問題、近隣にコンビニ等があることで売店の設置予定は特にない。	⑤ 4 3 2 1 + ふ 不 ← つ → + 分 う 分	現時点ではこの体制で問題はないと考えている。

5. 学校独自に奨学金や特待生制度を行っていますか	学校独自の奨学金及び特待生制度はないが、留年者に対し継続的な学習を促す目的で、納付金を半額にする特別学費支援制度を設けている。	特別学費支援制度はほとんどの留年者が利用しており、学生の学費負担軽減に寄与するとともに適正に運用できている。	5 ④ 3 2 1 + ふ 不 ← つ → + 分 う 分	特待生制度はより学力の高い学生の確保に有効か調査検討する。
6. その他			5 4 3 2 1 + ふ 不 ← つ → + 分 う 分	

4 教育面などでの特筆すべき取り組み(自由記入)

※学内においてこれまで記入したこと以外に、教育、施設・設備、学生サービス面での特筆すべき取り組みがあれば記入ください。

教職員が 10 名という本校では、職場で教育に関する研修会が少ない。個別では研修会に行き研鑽を積んでいるが職員全体で校内研修会を持つ必要があると考える。授業力向上のために学園全体で機会を持ち取り組むのも一つの方法である。

学生数の減少で入学者の現実問題として、学力の低下、学費の未納など切実である。これらを解決し、少しでも向上させるための方法や努力を検討していく事が肝要かと思われる。個別指導は従来通り入学時から取り組んでいるので工夫しながら継続する。学費については、奨学金や学園独自の制度等さらに充実していくことも考えられる。

以上